

産業廃棄物処理計画書

平成28年6月22日

都道府県知事
(市長)

殿

提出者

住所

氏名

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号

大分県杵築市大字片平140-6
萩原 龍夫

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	萩原牧場
事業場の所在地	大分県杵築市大字片平140-6
計画期間	平成28年4月1日～平成29年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	01 農業
②事業の規模	内用牛 180頭
③従業員数	2人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	動物のふん尿 自ら堆肥化 動物の死体 処理業者へ委託処理 販売 もと堆肥として使用

(日本工業規格 A列4番)



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度 (27 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	動物の死体
	排出量	1602 t	0.8 t
	(これまでに実施した取組) 該当なし。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	動物の死体
	排出量	1602 t	/ t
	(今後実施する予定の取組) 該当なし。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 該当なし。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 該当なし。		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 27 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	1,078 t	t
	(これまでに実施した取組) 堆肥化		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	1,078 t	t
	(今後実施する予定の取組) 堆肥化		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 27 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	524 t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	524 t	t
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度 (27 年度) 実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t t
	(これまでに実施した取組) 該当なし.	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t t
	(今後実施する予定の取組) 該当なし.	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度 (27 年度) 実績】	
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿 動物の死体
	全処理委託量	t t
	優良認定処理業者への処理委託量	t t
	再生利用業者への処理委託量	t t
	認定熱回収業者への処理委託量	t t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t t
	(これまでに実施した取組) ・動物のふん尿は、自ら堆肥化し、とどし堆肥として使用。残りは販売。 ・動物の死体は、処理業者に委託処理	

		【目標】	
		産業廃棄物の種類	
②計画	全処理委託量	t	/ t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・ふん尿は 糞ろ堆肥化。 ・動物の死体は、処理業者に委託。		
	※事務処理欄		